

安全データシート

作成日：2021/2/22

改訂日：

1. 製品及び会社情報

| | |
|-------|---|
| 製品名 | Alinity® HCV Ab・アボット（検体希釈液） |
| 製品コード | 8P06-02-02_8P06J REF（200 回用） 8P06-10-02_8P06J REF（1000 回用） |
| 会社名 | アボットジャパン合同会社 |
| 住所 | 東京都港区三田三丁目 5 番 27 号 |
| 担当部門 | カスタマーサポートセンター |
| 電話番号 | 0120-031441 |
| 緊急連絡先 | カスタマーサポートセンター 0120-031441 |
| 整理番号 | CSC572-1 |

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性 区分外

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 1

環境に対する有害性

水生環境有害性、急性有害性 区分 1

水生環境有害性、長期間有害性 区分 1

ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

重篤な眼の損傷
水生生物に非常に強い毒性
長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡を着用すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
ただちに医師に連絡すること。
内容物および容器は適切な方法で廃棄すること。

GHS 分類に該当しない 他の危険有害性

酸との接触により非常に毒性の強いガスを発生させる。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

| 成分名（化学名又は一般名） | 化学特性 | CAS 番号 | 濃度 又は 濃度範囲 | 官報公示整理番号 | |
|--------------------------|-----------------------------|-----------|---------------|----------|------|
| | | | | 化審法 | 安衛法 |
| ポリ（オキシエチレン）＝オクチルフェニルエーテル | $(C_2H_4O)_n C_{14}H_{22}O$ | 9002-93-1 | 3.4% | (7)－172 | 該当なし |
| 非公開 | 非公開 | 非公開 | 96.6% | 非公開 | 非公開 |

4. 応急措置

| | |
|-----------------------|--|
| 吸入した場合 | 暴露源から遠ざけること。刺激または毒性の症状がみられる場合は、医師の診察/手当てを受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 製品が付着した衣類を脱ぐこと。付着した部位を流水で 15～20 分間洗うこと。刺激または毒性の症状がみられる場合は、医師の診察/手当てを受けること。 |
| 眼に入った場合 | 痛みなどの症状は遅れて表れ、症状の過小評価につながる恐れがある。少なくとも暴露後 48 時間は医学的観察を続けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 水で口をすすぐこと。刺激又は毒性の症状がみられる場合は、医師の診察/手当てを受けること。 |
| 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 | 腎臓への影響 重篤な眼の損傷 |
| 医師に対する特別な注意事項 | データなし |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|---|
| 消火剤 | 粉末消火剤、二酸化炭素、噴射水、または泡消火剤 <ul style="list-style-type: none"> 注意：閉鎖された空間で二酸化炭素を使用する場合には、酸欠を引き起こす可能性があるため、注意すること。 規模の大きい火災の場合：この製品に関連する消火活動の方法を決める際、考慮すべき特有の化学物質や危険な反応性はない。環境に適した消火剤を使用すること。 |
| 使ってはならない消火剤 | 特になし |
| 消火を行う者の保護 | 規模の大きい火災の場合には、適切な耐熱、耐炎保護衣、呼吸保護具等を使用すること。 |

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置

項目 8.に記載の適切な保護具を使用することにより、暴露を最小限にすること。可能であれば、漏出を止めること。
保護具を着用していない者を近づけないこと。

環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法 及び機材

液体及び蒸気を地下水、排水口、表層水または土壤に浸入させないこと。
少量の漏出の場合はペーパータオル等で吸い取る。
大量の場合、吸収材で囲って流出を防止する。ペーパータオル、一般的な吸収材、砂、珪藻土、おがくずなどの液体吸収材で吸い取ること。
漏出したエリアを清掃すること。温水と合成洗剤または類似の洗剤が適切である。

本製品は、毒性及び反応性のあるアジ化ナトリウムを含有している。取扱い及び汚染された物質の廃棄方法についての追加情報は、項目10.及び項目13.を参照すること。

大容量が漏出した場合：本製品は、酸と反応して非常に有毒なガスであるアジ化水素酸を産生するアジ化ナトリウムを含んでいる。大量の製品を吸収させた機材の滅菌が必要な場合には、下記の特性を有した除染剤を選択すること。

- アジ化ナトリウムを含む廃液の滅菌には、pH が6 より低くなる化学物質または除染剤を用いないこと。pH が6 より低くなると、含有しているアジ化ナトリウムにより、有毒なアジ化水素酸を産生することがある。
- アジ化ナトリウムを含む廃液の滅菌には、水銀及びその他の重金属を含む除染剤を用いないこと。圧力や衝撃により爆発性を有する重金属のアジ化化合物を生成する可能性がある。
- 泡立たない、エアロゾルの出ない除染剤を用いること。
- 過剰量の除染剤を用いないこと。
- 製造元の指示に従わない場合は、廃棄物と想定外の反応を引き起こす可能性がある。
- 安全に扱う為の設備、器具または適切な保護具が使えない場合には、除染剤を使わないこと。

汚染されたものの廃棄については項目 13.を参照すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策（局所排気・爆発および火災に対する特別な対策は必要ない。
全体換気等）

安全取扱い注意事項 特になし。

接触回避 眼への接触を避けること。

保管

安全な保管条件 保管に関する追加情報は、添付文書または製品ラベルを参照すること。

安全な容器包装材料 オリジナルの容器及び包装でのみ保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

情報なし

許容濃度

| 危険有害成分 | 日本産業衛生学会 (2019年版) | ACGIH (2017年版) |
|----------------------------|----------------------|-------------------|
| ポリ(オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテル | 設定なし | 設定なし |

保護具

呼吸用保護具

通常の使用及び保管、または少量の飛沫(例 ペーパータオル等で十分吸い取ることができる量)の場合- よく換気されている室内では必要ない。その他の異常事態(例 大量の漏出)、または消火活動などを行う場合 - 化学物質濃度が暴露限界を超えているような場合には、適切な濾過式呼吸用保護具を使うこと。

手の保護具

手に製品が接触するおそれがある場合には、保護手袋を着用すること。使用後の汚染した手袋は、適切な方法で廃棄すること。

眼の保護具

安全眼鏡等を着用すること。液がはねる可能性がある場合、フルフェイスマスクまたはゴーグルを着用すること。

皮膚及び身体の保護具

通常の使用：実験服か他の適切な保護服を着用し、衣服の汚染を防止すること。

大量の漏出(例 衣服にしみ込む量)の場合：防水性の保護衣を着用する。

特別な注意事項

製品を使用する場所をいつも清潔に保ち、一般的な注意事項に従うこと。製品又は検体を使用する場所で、飲食を行わないこと、食料及び飲料を保管しないこと。休憩開始時、製品や検体を取り扱った後および作業終了時には手を洗うこと。

眼への接触を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

製品として

| | |
|---------------------|-----------------|
| 外観 | |
| 形状 | 液体 |
| 色 | 琥珀色 |
| 臭い | 無臭 |
| pH | 7.5 (20°C) |
| 融点／凝固点 | データなし |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | データなし |
| 引火点 | 引火性なし |
| 自然発火温度 (発火点) | 自然発火性なし |
| 燃焼または爆発範囲の 上限／下限 | 爆発の危険性なし |
| 蒸気圧 | 情報なし |
| 比重 (相対密度) | 1.096 情報なし |
| 溶解度 | 水に対して：完全に混和できる。 |
| 粘度(粘性率) | 水に対して：70.4% |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|--|
| 反応性 | 情報なし |
| 化学的安定性 | 仕様書通りの使用であれば、分解しない。 |
| 危険有害反応可能性 | <p>本製品はアジ化ナトリウムを含有している。アジ化ナトリウムを含有している溶液では以下のような報告がされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> •酸と反応して有害なアジ化水素酸を生成する。アジ化水素酸は、溶液が酸性になった場合(pHが低くなったような場合)には、大量に生成される。水溶液中のアジ化ナトリウムからも、少量が生成されることがある。 •金属(銅、鉛、銀、真鍮)と反応し、爆発性のある金属アジ化合物を形成する。銅、鉛、真鍮にアザイドが蓄積している排水管の工事の際に大規模な爆発が起きたことが報告されている。 |
| 避けるべき条件 | 情報なし |
| 混触危険物質 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 危険有害な分解生成物は報告されていない。 |

1 1. 有害性情報

製品として

| | |
|------------------------|---------------------------------------|
| 急性毒性 | データなし |
| 皮膚腐食性及び刺激性 | 刺激性なし |
| 眼に対する重篤な損傷性 または眼刺激性 | 重篤な薬傷のおそれ、影響は遅れて表れる可能性がある。 重篤な眼の損傷 |
| 呼吸器感作性または皮膚感作性 | 感作性なし |

1 2. 環境影響情報

| | |
|-----------|------|
| 生態毒性 | 情報なし |
| 残留性・分解性 | 情報なし |
| 生態蓄積性 | 情報なし |
| 土壌中の移動性 | 情報なし |
| オゾン層への有害性 | 情報なし |

製品を、地下水、水域または下水道に浸入させないようにする。
ごく少量でも土壌に漏出した場合、地下水を飲むことは危険である。水生生物に非常に強い毒性。

1 3. 廃棄上の注意

本製品は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

| | | |
|----|----------------------|--|
| 陸上 | ADR (欧州危険物道路輸送協定) | ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S./Class 9 |
| 海上 | IMDG (国際海上危険物規則) | ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S./Class 9 |
| | 海洋汚染物質 | 該当 |
| 航空 | IATA (国際航空運送協会危険物規則) | ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S./Class 9 |

国連分類 Class 9: Miscellaneous dangerous
substance and articles (その他有害性物質)

国連番号 UN3082

品名 Polyethylene glycol octylphenyl ether

容器等級 Package Group III

15. 適用法令

| | | |
|---------------------------|--|--|
| 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) | 第 1 種指定化学物質 (法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1) | ポリ(オキシエチレン) = オクチルフェニルエーテル (政令番号：408) |
|---------------------------|--|--|

16. その他の情報

- 連絡先** お問い合わせの第一報は、カスタマーサポートセンター：0120-031441 まで。
- その他** この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには充分注意してください。
- なお、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供を目的とするものであり、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常の見取り方を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。
- また、この安全データシートの内容について、特に混合物の場合には、成分の濃度等を考慮した上でご閲覧ください。